

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)桃山台駅前建替計画 II工区	階数	地上15F
建設地	豊中市新千里南町3丁目6	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居地域、防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年7月 予定	評価の実施日	2016年8月22日
敷地面積	5,260㎡	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	1,464㎡	確認日	2016年8月22日
延床面積	16,246㎡	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (276 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 52% (143 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 52% (143 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 52% (143 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		その他
総合 敷地内の緑化に努め、周辺への景観配慮と温熱環境の向上に取り組んでいる		特に無し
Q1 室内環境 室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用している。	Q2 サービス性能 劣化対策等級3など、耐久性に優れている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地境界際に緑化を行い、周辺への景観に配慮している。
LR1 エネルギー エコジョーズ等の採用により、設備システムの効率化に重点を置いている。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない建材を使用している	LR3 敷地外環境 適切な駐車スペースを確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0083

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)桃山台駅前建替計画 II工区 新築工事					
	建設地	豊中市新千里南町3丁目6					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
	CO2削減					5	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	
【評価項目】							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			4.9	5	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	4	
				住戸・宿泊	5.0		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			5.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			5.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			2.2		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			4.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0		
その他							
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項							